

あなたと議会の情報ネットワーク

おおやら21

熊本県・みふね町議会



No.167
7月議会
R3.08

中高生にも新型コロナワクチン接種（スポーツセンター）

7月議会

7月議会は7月8日に行われた。
地域防災計画の一部修正など、議案3件を審議採決した。

報告

あらかじめ議会の議決によって指定した軽微な議案について、町長が意思決定（専決処分）した事の報告です。



町道落合浄光寺線 四宮橋上部工工事変更契約

計画の修正



地域防災計画の一部修正

補正予算



一般会計 補正額 +8,355千円 補正後合計 10,966,057千円

規約の変更

一部事務組合规約の一部変更

おしえて！ Vol.5
ふねまるくん



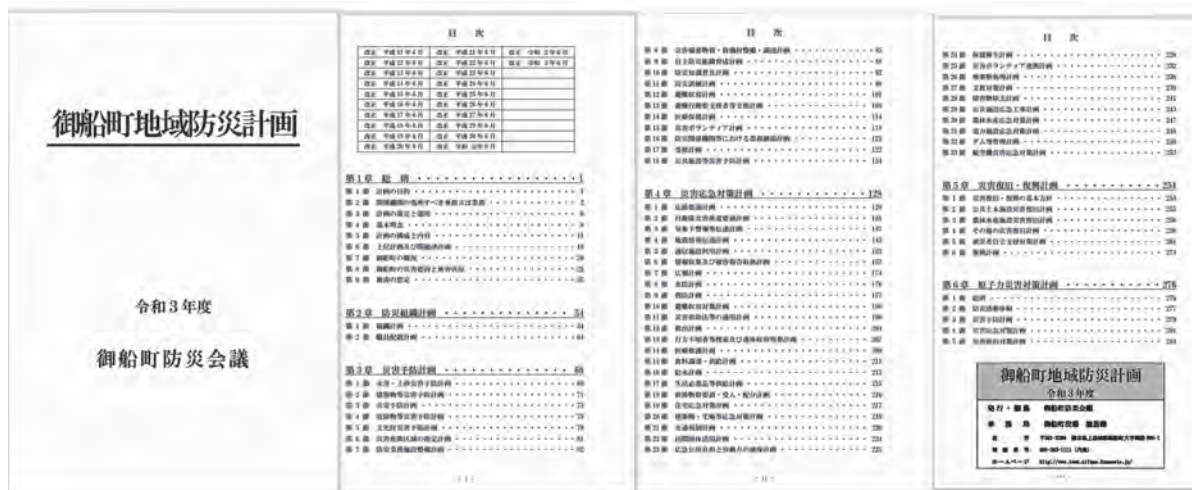
▲地域防災・水防計画は
こちらをご覧ください

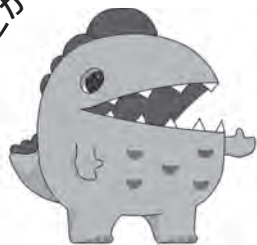
地域防災計画って何？

地域防災計画（ちいきぼうさいけいかく）は、災害対策基本法第42条に基づき、市町村の防災会議が防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた計画です。

「地域防災計画」は毎年実情に合わせて改訂されます。御船町議会では、議会の意見や町民の声を反映させるため「地域防災計画」を議決事件（議会の議決が必要な案件）に指定しています。

「地域防災計画」は、御船町の防災組織、災害予防、災害応急対応、復旧・復興について…など広く詳細に定めた計画です。みなさんも一度ご一読ください。





審議の一部を抜粋して掲載しています。他の審議内容はホームページまたは、情報開示コーナーでご覧ください。
このQRコードからどうぞ



PickUP ①

四宮橋上部工工事変更契約



四宮橋の架け替え工事が進んでいるが、その工程の中で機械を使用するために切断した鉄筋を、再度継ぎ合わせる工事が追加となった。

図 四宮橋架け替え工事の変更内容の説明を求める。

建設課長 作業時に機械に邪魔になった鉄筋を切断して工事を進めていたので、その鉄筋を接ぐために機械式継手工という工事を新たに追加した。

図 設計どおり工事していれば、機械が入らないことは当然わかっていたのではないかと。

建設課長 今回の工事では下部工と上部工があり、そのどちらでこの工事をするのが適切かわからなかったため、作業の進み具合を見ながら協議を重ねて、上部工側で実施することで決定した。

図 1回切ってまた接ぐのだが、強度的には問題ないか。

建設課長 強度試験を実施して、問題ないことを確認している。

PickUP ②



地域防災計画の一部修正(消防団)

防災計画の消防団組織の中から第3分団と音楽隊が削除され、女性消防隊が追加された。女性消防隊のあり方をどうするかが今後の課題である。

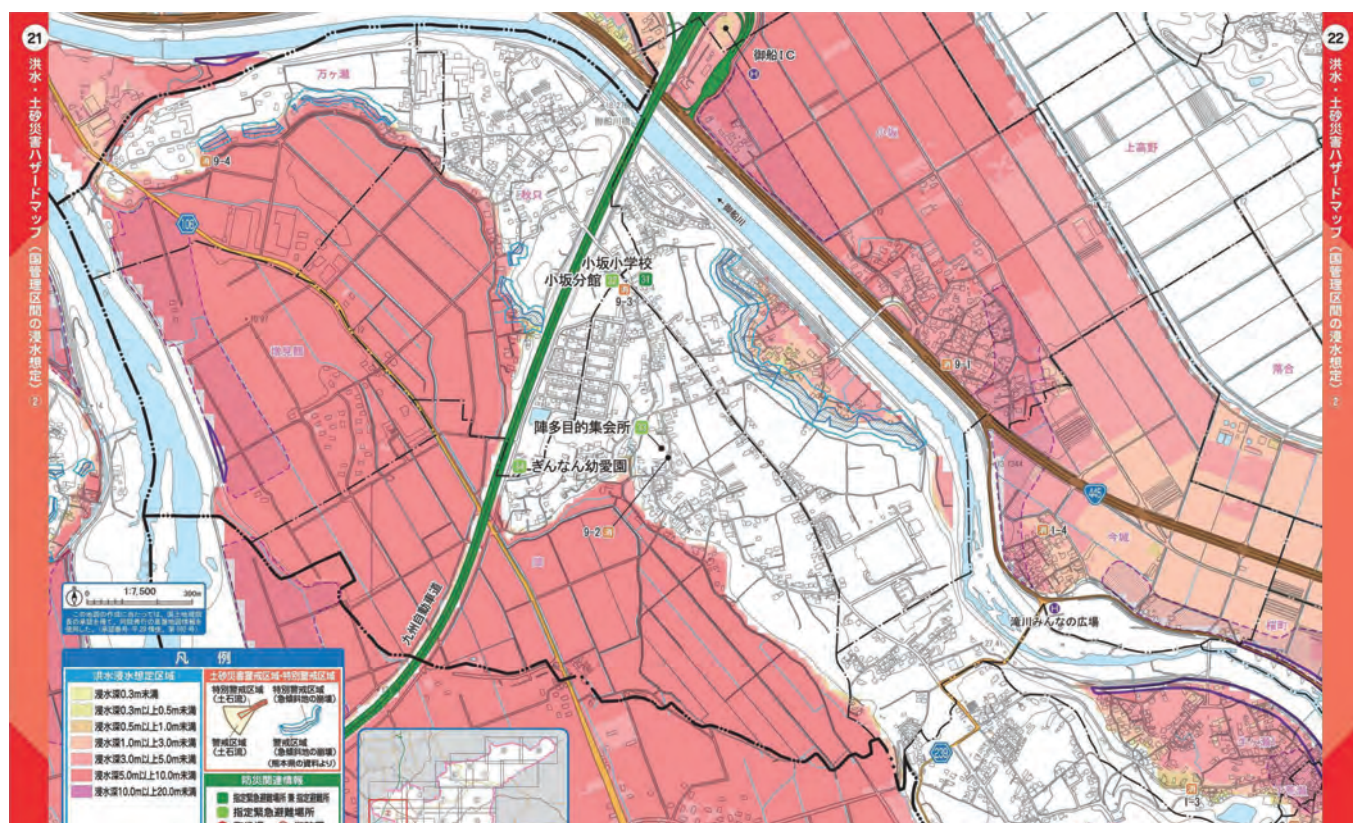
図 消防団組織の第3分団と音楽隊が削除され、新たに女性消防隊が結成されたことの説明を求める。

総務課長 第3分団の水越地区は、消防団としては削除されたが、機能別消防団員として72名に協力していただいている。今後若い人たちがUターンで戻ってくるなど、条件が整えばまた第3分団として配置したいと考えている。

女性消防隊は主に役場職員の消防隊である。女性目線での町民サービスの提供、子どもや高齢者や災害時の要支援者などへの対応力の向上を目指している。今後は、上益城消防署の女性消防士と連携して技術訓練等を行いたい。

図 女性消防隊は一般町民を対象に公募しないのか。

総務課長 懸案事項である。消防団、団長、副団長会議等を介した上で、今後の女性消防隊のあり方を協議していく。





地域防災計画の一部修正(危険区域)
町内の災害危険区域を広く周知するために、ハザードマップが全世帯に配布されている。その他にも、リアルハザードマップや雨水管理総合計画の設置・作成が検討されている。



図 災害危険区域等の防災・減災を町としてどのように計画しているか。

建設課長 御船町のハザードマップを全世帯に配布して、危険箇所の周知に努めている。危険箇所の住民への周知が行き届いていないので、今後は各地区に危険箇所の一覧等を明示するなどして、各地区で危険箇所を把握してもらうことも必要だと考える。

図 リアルハザードマップとは何か。

総務課長 例えば、御船川が氾濫した場合にどのくらいの水位になるかという印を現地に直接「浸水ライン」として表示するようなもの。

図 内水被害のハザードマップが必要ではないか。

環境保全課長 今年度、雨水管理総合計画を策定する。浸水シミュレーションの中で浸水想定区域図は盛り込んであるが、今後、内水ハザードマップも作成の検討をして、町民に示せるよう努力する。



地域防災計画の一部修正(避難所)
防災計画に記載されている指定避難所の収容人数は、感染症対策時も計算上、密とならない人数である。



図 指定緊急避難場所の収容人数は感染症対策時どのようなになるか。

総務課長 避難所の1人当たりの面積は3平方メートルで十分感染症対策に耐え得るので、変わらない。

図 七滝小の校舎は雨漏りをしていると聞いたが、避難所として使えるのか。

総務課長 今後改修等の予定はないので、体育館のみで対応する。



一般会計補正予算(災害復旧費)
5月17日豪雨による農業災害の復旧工事の完了は来年度になる見込みである。

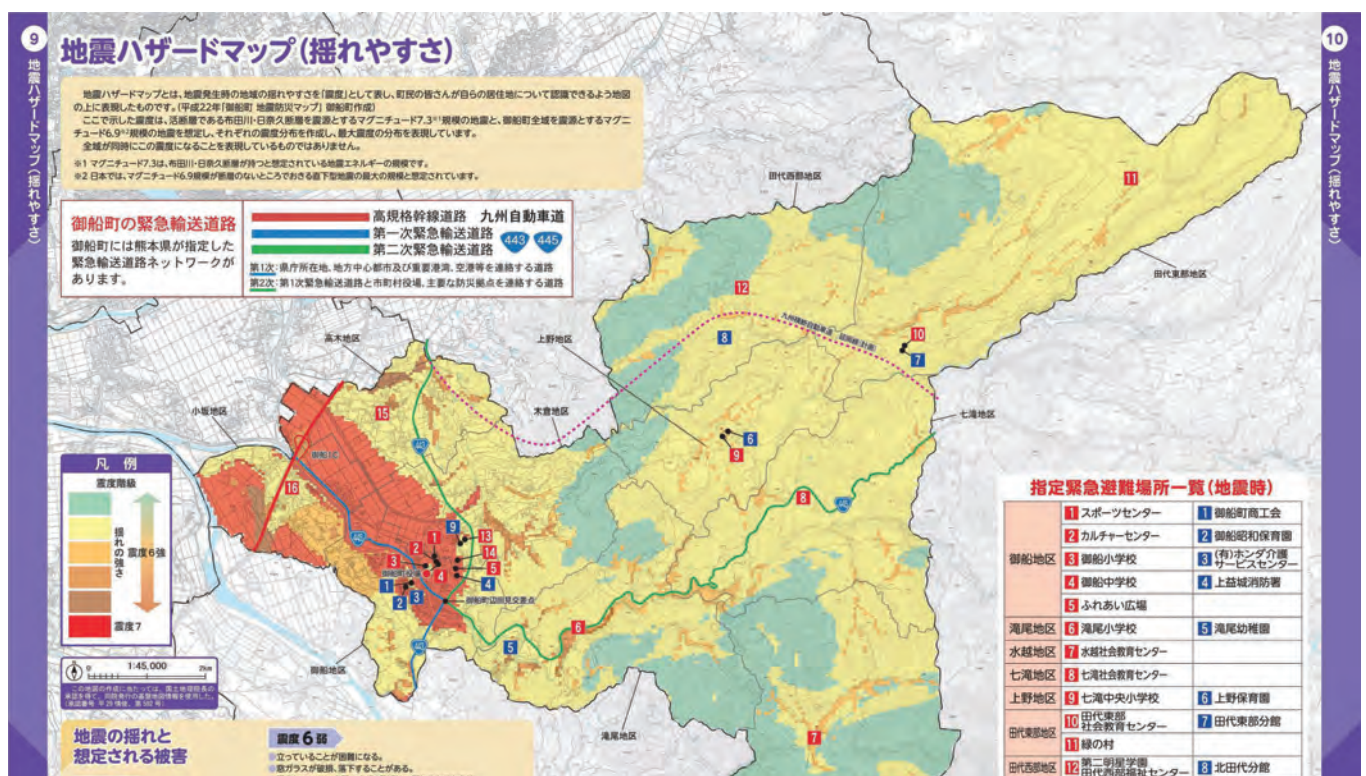


図 農業災害の設計委託料があるが、この工事の完了はいつか。

農業振興課長 国の災害査定が9月頃に行われる情報があるので来年度になるだろうと考えている。

図 来年度のどのあたりかは、まだわからないのか。

農業振興課長 まだわからない。今年度の12月ぐらいになれば先の見通しを立てられるだろうと考えている。



議会基本条例の見直し

議会改革推進特別委員長 岩永宏介

7月28日、御船町議会基本条例の見直しについて協議を行った。今回は、第12条において議決事件となっている「地域防災計画」および「農業振興地域整備計画」について審議した。担当課から計画の説明、課としての考え方など聞き取りを行った。

この2つの計画を議決事件とした背景には、町の重要な計画を議会にきちんと諮り、審議を

した上で実施してほしいという思いがあった。しかし、実情として議決事件にはそぐわないとの意見も多くあがった。議会での協議・報告の場は必要であるとの意見が多かったため、この2つの計画は残すこととした。これらの計画に議会や住民の考えを反映させる方法を引き続き検討していく。

タブレット活用を目指して ペーパーレス研修を実施

7月21日に議会のタブレット導入に伴うペーパーレス会議システムの研修が行われた。今回、御船町議会は「MetaMojji」というシステムを導入。全員で一度に同じ資料をタブレット上で見ることができ、発表者の操作に合わせて会議の参加者のタブレットの資料を動かしたり、タブレット資料に自分の必要なメモを残すことができたり、今までの紙媒体の資料と同等、もしくはそれ以上の機能が搭載されている。またペーパーレス会議システムを活用することで、紙代や印刷代の大幅なコスト削減ができる。将来的には本会議での議案審議もこのペーパーレス会議システムを活用していくことを見

据え、まずは全員協議会や委員会での議会資料からペーパーレス化を進めていきたい。



ペーパーレス化で年間約18万枚の
紙が節約できるよ！



北木倉
前永まゆみさん

共に支えあい生きていこう

昭和52年にみふねデコボコ会として発足してから早、44年目になります。この間に地域の皆様には、ご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。この7月から御船小学校横に隣接する場所に拠点を移し、生活介護、就労継続支援事業を行う「多機能型支援センターでこぼこ」としてスタート致しました。平成20年に、高木の運動公園内にある旧交流センターを拠点に活動してきました。現在は療育や相談事業は引き続き継続しております。

現在、でこぼこでの主な仕事は、ニラの選別、ちらしの折り込み、梅干し作り、パンの製造等を行っています。パンの製造後は家庭や職場に配達に伺っています。これからは皆様にお目にかかることも増えてくるのではないかと思います。どうぞお会いした時には声をかけてくださいね。

利用者一人一人が安心して意思表示出来る関係を構築し、ご本人の意思を尊重した支援に努めて参ります。

どうぞこれからもご支援の程よろしく願います。

議会の予定9月

3日(金) 全員協議会

9日(木) 議会(予定)

16日(木)



◀議会HPはこちら

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、9月議会の傍聴もお控えいただきますようご協力お願いいたします。



第40回熊日新鋭書道展・特選
御船高校書道部 2年 植田真唯子さん

モニターコラム



私は長い間熊本市内に勤務していたため、足元の御船町の行政にはあまり目が向いていませんでした。しかし、熊本地震以後関心を持つようになり今回議会モニターに応募しました。しかし、コロナ禍の中で町議会の傍聴が一度もできていないことは非常に残念です。

議会は、地方公共団体の意思を決定する機能、執行機関を監視する機能など非常に重要な役割を担っています。

議会を傍聴することやモニター

制度は民主主義にとっても大事なことでと思っています。

議員の皆様、どうかお互い同士の活発な議論を通して、町の活性化や町民の福祉の向上に取り組んで下さい。町民は誰がどんな意見を述べ、どんな質問をしたかを注視しています。その付託に応えるように頑張ってください。



常石訓弘
議会モニター